

# 柳津の史跡マップ

柳津学区まちづくり推進委員会



## 1 柳津発祥の地・神武天皇御上陸之地

神武天皇御東征の、御船を市場組の磐の井付近の柳の木につなぎ上陸され、この地を柳の里と称し、多くの原住民が住み後に柳津村となった。昭和15年「神武天皇御上陸之地」の記念碑を磐の井の横に建てられた。



## 3 善立寺

この寺は、元神村町にあったが、幾度も火災により柳津に移転し、本願寺第8世蓮如上人の訪問により教化を受け浄土真宗に改宗した。元龜2年に現在の地に伽藍を構えた。



## 2 常泉寺

応仁の乱後、中江崇俊は仏門に入るため、私財を投じて建立した。平成20年(2008年)本堂と庫裡と建て替え、橋はコンクリート橋となり、石造りの常泉寺橋は本堂と庫裡の渡り廊下とした。



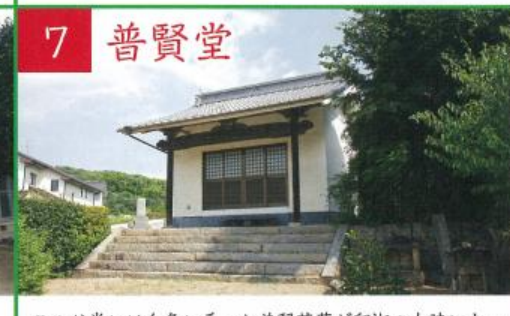
## 5 風呂基業師堂

俗名 おやくっさん 本殿の前には石造りの井戸があり、弘法大師と嘉平次の伝説がある。雨水がお堂の脇を流れ風呂基川を通じて松永湾に流れ出ている。



## 4 妙蔵寺

この寺は、柳津西組の遍防地にあり、この辺り迄柳津の地である。日蓮宗で、本尊は十方世界大曼陀羅である。



## 7 普賢堂

このお堂には白象に乗った普賢菩薩が釈迦の右脇に立っている像がある。秘仏とされており以前は17年目、33年目の外は開扉されないことになっていた。村方支配であったが明治3年、個人の管理になっている。



## 6 観音寺

本尊は千手観世音菩薩像、この寺は住職が不在となり、柳津氏子総代が世話をし、毎年4月8日花祭りでは釈迦像に甘茶を注ぎ、釈迦の誕生を祝う行事がある。



## 9 馬取貝塚

柳津町に古代人が生活した跡が残されており、馬取貝塚は県の指定を受け建屋を設け保存されている。付近の貝塚から出土した土偶は、この地方でも珍品と言われ、東京国立博物館に所蔵されている。



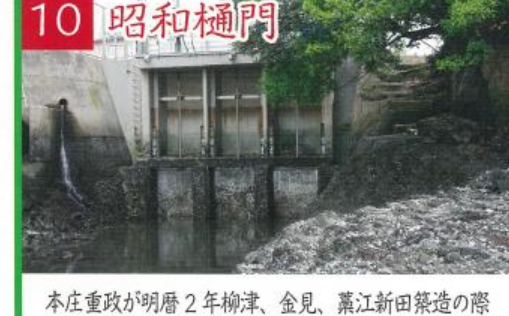
## 8 王人の足跡・金の玉

柳津に伝わる王人伝説、王人が向いの島に渡る時この岩に足を踏んばったため、岩に足の窪みが出た。また、王人が金の玉を海に落とし、石に変わった玉を拾って七番浜(慶応浜)に竜神として祀っている。



## 11 大師堂

西組の遍防地の丘に新四国84番の大師堂がある。通称「お大師さん」という。大正5年頃には近隣だけでなく、島々からの団体参りが引切り無しにあった。毎年9月に例大祭が行われている。



## 10 昭和樋門

本庄重政が明暦2年柳津、金見、薫江新田築造の際に設けた樋門で、俗に「樋の堂」と呼んでいた。昭和21年南海大震災で樋門が壊れた為、昭和27年近代的技術により樋門が完成し「昭和樋門」と命名された。



## 14 吉備高島宮跡・御蔭明神社

御蔭山にある御蔭明神社(龍王神社)には、海の石を御神体として石室に納められている。吉備高島宮跡の史跡、神武天皇御東征の御蔭山にお立ち寄りされたと伝えられており、吉備高島宮跡碑がある。



## 16 笠神社

笠神社は市場組の奥田の鹿の子池の東にあり、柳津の最古の宮と言われている。祭神は、大名持之神、少名彦之神と伝えられている。



## 18 潮崎神社

本庄重政が塩田築造の際、柳津にあった剣大明神をこの地に移し潮崎神社と改称した。いまだに「明神さん」と呼ばれているのはそのゆえである。祭礼では、煙火(花火)がはなばなしく打ち上げられる。



## 20 塞神社

この地は、柳津と神村の境にあり、昔は往来する多くの人が休憩するところであった。別名「休み石」と呼ばれていた。最近まで休憩する建物があった。



## 13 王子神社

別称「王子権現たたきの宮」という。室町時代には、この山の中腹にあったが、寛永2年現在の場所に立て替えられた。祭礼の夜、夜通し太鼓をたたかば魔が出るという、夜通し太鼓を打ち鳴らしたので「たたきの宮」と言われたと伝えられている。



## 15 荒神社

柳津には、数社の荒神社がある。住民が荒神社に集まり収穫感謝のための祭礼を行っていた。今でも荒神祭りに神楽を奉納する事がある。



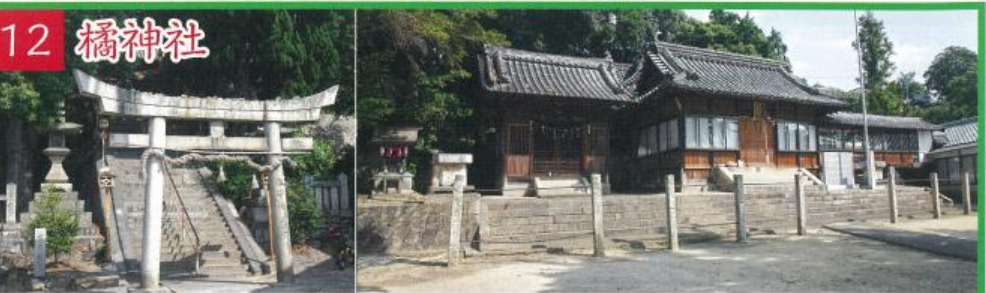
## 17 妙仲とキヨの墓

橋神社に伝わる伝説に、橋造勢の娘妙仲が父の菩提を弔わんと諸国修行に出た際、当地を訪れ、キヨという婦人と出会い滞在中も父の霊を祀って朝夕の礼拝を怠ることなく深く里人を感銘させ、二人の死後「妙仲とキヨの墓」を観音寺の前に建た。



## 19 四ツ堂

屋根は草葺で上に唐津のスリバチをかぶせてあるので別名「唐津堂」と言う。今は、銅板で葺き替えられている。ここは、四つの道が交り合う交通の要衝であった。



## 12 橋神社

橋神社には護国神社、稲荷神社、恵比寿神社などの多くの神社が合祀されている。橋諸兄・橋逸勢・清平姫・妙仲とキヨなどの伝説があります。また、柳津の村社として多くの祭礼が行われてきました。洞鉦踊り・神楽の奉納が毎年行われている。